

みずほ教育便

みずほ未来プロジェクト

このプロジェクトでは、市内の中学生が、瑞穂市の10年後の未来を思い描く中で、「こんなまちにしたい」という願いや「自分には何ができるのか」を考え、社会の一員であるという自覚をもつことを目指しています。よりよい未来をつくるために、生活をよりよくするためのアイデアを出し合い、活動するなど1年をとおして探究しています。そして、意見や考えをまとめ、発表します。今年度は幅広い視点の中から、各学校がそれぞれテーマを決めて取り組んでいます。



テーマ **誰もが幸せに暮らせるまちにするために**

自分たちで情報を収集するだけでなく、市の担当者や外部講師らの講話を聴き、得られた情報を整理・分析しました。どのように取り組み、情報発信していくかを考え、発表の仕方にも工夫を加えました。

穂積中学校テーマ **環境**

- 住みやすい環境にするために、具体的に市の将来について考え、自分たちにできることが身近にあることを再確認できた。
- ごみの分別や交通ルールを守るなど、瑞穂市をよりよくするために自分から周りの人に働きかけたい。



穂積北中学校テーマ **人権**

- 多様性、差別、教育などといった視点からさまざまな人権について深く考えることができた。
- より個人の人権が尊重されるためには、市民が人権への理解を深めると同時に、市民同士でコミュニケーションを図ることが大切だ。



巢南中学校テーマ **防災**

- 災害でライフラインが途絶えた際の対応、生活必要物資の備えについて改めて考えることができた。
- 小学校や保育所で災害対策について伝えたり、公共施設にポスターを掲示したりするなどして学びを発信したい。

